

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	庁舎等管理費								予算主管課		農政課		
	事 業 概 要	西条第二庁舎の維持管理及び愛南庁舎並びに四国中央庁舎の使用料の支払い等を行う。								始期		2005		
										終期				
	K P I	施設の維持管理上の不具合件数												
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件			
		実績値	件	実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件			
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %			
		コ ス ト		最終現計 予算額	60276 千円		最終現計 予算額	59888 千円		最終現計 予算額	50065 千円			
				決算額	52537 千円		決算額	55072 千円		決算額	45651 千円			
					繰越額	千円		繰越額	千円					
					不用額	4414 千円		不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因											
			総括											
		見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も事前の点検活動の強化により、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	農業遺産地域魅力向上事業費							予算主管課		農政課					
	事 業 概 要	「宇和海沿岸部の急峻地における農業と漁業が育んだ景観形成・保全システム」の世界農業遺産認定に向けた活動に関係市町等と連携して取り組み、南予産柑橘等のブランド力向上や次代を担う若年層のシビックプライドの醸成を図る。							始期		2022					
									終期		2026					
	K P I	農業遺産保全計画の目標達成項目数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	16 項目		目標値	17 項目		目標値	18 項目		目標値	19 項目		
		実績値	14 項目		実績値	13 項目		実績値	10 項目		実績値	13 項目		実績値	項目	
		ストック /フロー	フロー		達成率	81.3 %		達成率	58.8 %		達成率	72.2 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	4812 千円		最終現計 予算額	4713 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	4483 千円		決算額	4590 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	123 千円		不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因 最終年度で判断すべき累計指標や、件数のみでは取組の広がり把握しにくい指標があることに加え、一部取組が目標水準に届かなかったため。													
			総括													
		見直し方向性	維持	農業遺産の視点から南予の伝統的なかんきつ農業を普及・啓発するものであり、地域の持続的な農業振興に資するとともに、県産かんきつや地域農業の価値の再評価、地域への愛着の醸成にもつながることから、今後も適切に実施していく。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	えひめ農林水産業振興プラン策定費								予算主管課	農政課
	事 業 概 要	えひめ農林水産業振興プラン2021の実現に向け、地域懇談会等による情報収集や進捗管理のほか、次期プラン策定に向けた検討等を行う。								始期	2000
										終期	2030
	K P I	プランの進行管理での見直し件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	2818 千円	最終現計 予算額	2306 千円	最終現計 予算額	3079 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	2011 千円	決算額	千円	決算額	2136 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
								不用額	943 千円	不用額	千円

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	KPI実績は目標を維持しており、令和8年度の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	野菜・花き等産地供給力強化支援事業費							予算主管課		農産園芸課					
	事 業 概 要	野菜・花き等産地の供給力強化や持続可能な食料システムの構築に向け、県野菜・花き振興計画に定める主要品目の収量向上や有機農業面積の拡大等に必要な施設・機械の導入経費の一部を補助する。							始期		2021					
									終期		2030					
	K P I	系統組織におけるさといも・きゅうりの栽培面積														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	395.8 ha		目標値	414.8 ha		目標値	433.8 ha		目標値	ha		
		実績値	ha		実績値	380.9 ha		実績値	379.1 ha		実績値	385.6 ha		実績値	ha	
		ストック /フロー	ストック		達成率	96.2 %		達成率	91.4 %		達成率	88.9 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計	18734 千円		最終現計	22220 千円		最終現計	27009 千円		最終現計	千円		
				予算額			予算額			予算額			予算額			
	決算額			14425 千円		決算額	18558 千円		決算額	17229 千円		決算額	千円			
							繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	9780 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因 きゅうり：高齢化等により栽培面積が減少したことが未達の要因となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	高齢化により栽培面積の縮小はあるが、若い世代や新規参入による規模拡大が見込めることから、令和8年度予算の執行方法の見直しは検討していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	かんきつ流通施設強化支援事業費							予算主管課	農産園芸課	
	事 業 概 要	かんきつの選果・流通の高度化により果実供給力を強化するため、広域選果体制を構築した上で、必要な先端技術の導入を図る集出荷貯蔵施設の整備に要する経費の一部を補助する。							始期	2024	
									終期	2030	
	K P I	温州みかんの市場販売額									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	115.7 億円	目標値	121 億円	目標値	126.2 億円	目標値	126.2 億円
		実績値	110.7 億円	実績値	121 億円	実績値	92.3 億円	実績値	141 億円	実績値	億円
		ストック /フロー	フロー	達成率	104.6 %	達成率	76.3 %	達成率	111.7 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1543895 千円	最終現計 予算額	4426957 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	千円	決算額	2945 千円	決算額	3802100 千円	決算額	千円
					繰越額	624857 千円	繰越額	千円			
					不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R 7 年度のKPIの実績は順調な成果が出ており、R 8 年度以降も現状を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、R 8 年度の執行方法やR 9 年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	かんきつ園地施設化支援事業費							予算主管課	農産園芸課	
	事 業 概 要	高品質果実の供給力を強化するため、樹園地の再編に併せて施設栽培の産地化を図る取 組みに要する経費の一部を補助する。							始期	2024	
									終期	2030	
	K P I	高品質かんきつの施設栽培面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	ha	目標値	1.03 ha	目標値	1.56 ha	目標値	3.15 ha
		実績値	ha	実績値	0 ha	実績値	1.03 ha	実績値	1.56 ha	実績値	ha
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	85412 千円	最終現計 予算額	47710 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	千円	決算額	55380 千円	決算額	28109 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
								不用額	19601 千円	不用額	千円

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R7年度のKPI実績は、目標どおりの成果が出ており、R8年度以降もKPI目標を達成すると考えられるため、予算の見直しは想定していない							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	果樹産地整備事業費								予算主管課	農産園芸課
	事 業 概 要	かんきつ産地としての持続性を確保するため、国事業を活用し、産地パワーアップ計画に基づいて生産者等が実施するハウス施設等の整備に要する経費の一部を補助する。								始期	2024
										終期	2026
	K P I	産地パワーアップ計画や国事業計画に掲げられた施設・設備整備進捗率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	254211 千円	最終現計 予算額	19825 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	千円	決算額	234671 千円	決算額	12020 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	7805 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R7年度のKPI実績は、目標どおりの成果が出ており、R8年度もKPI目標を達成すると考えられるため、予算の見直しは想定していない							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6月補正	事 項	農業支援サービス拡大促進事業費						予算主管課		農産園芸課						
	事 業 概 要	農業現場の労働力不足が深刻化する中、生産性向上や規模拡大など農業経営の持続的発展を図るため、農作業をサポートする農業支援サービス事業体の育成・強化、サービス提供に必要なスマート農業機械等の導入に要する経費の一部を補助する。						始期	2025							
								終期	2026							
	K P I	支援対象事業者が新たに取組むサービス提供面積														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	ha		目標値	ha		目標値	14 ha		目標値	176 ha		
		実績値	ha		実績値	ha		実績値	ha		実績値	0 ha		実績値	ha	
		ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	0 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計	千円		最終現計	千円		最終現計	48091 千円		最終現計	千円	
					予算額			予算額			予算額	48091 千円		予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	千円		決算額	35901 千円		決算額	千円	
							繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	12190 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析	要因 スマート農業機械等を導入し新たに8事業者が育成できた。本格稼働は次年度になるため、本年度は未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	農業支援サービス事業体の育成強化や活動周知に努め、さらなる成果向上につなげる。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9

2月補正

事 項	共同利用施設再編集約合理化推進事業費										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	生産者の減少、耕作放棄地の増加に対応し、農産物の供給能力の維持や生産体制を一層強化するため、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化を推進する産地の取組に要する経費の一部を補助する。										始期	2024			
											終期	2026			
K P I	再編新事業を活用した施設に係る主要野菜の出荷量														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	t		目標値	5499 t		目標値	5500 t		目標値	5762 t		
	実績値	t		実績値	5595 t		実績値	5036 t		実績値	5337 t		実績値	t	
	ストック/フロー	フロー		達成率	%		達成率	91.6 %		達成率	97 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1298350 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	760680 千円		決算額	千円	
								繰越額	412450 千円		繰越額	千円			
								不用額	125220 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析		要因 令和7年度は施設整備中のため、事業効果は現れておらず未達成となった。												
			総括												
	見直し方向性		維持		共同利用施設の再編集約・合理化により、出荷量増に向けた県内全域の野菜生産・出荷及び販売体制の見直しが進んでいることから、令和8年度予算の執行方法の見直しは検討していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

10

当初

事 項	えひめ食農教育推進事業費										予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	各地域の経済活動を活性化させる女性リーダーを育成することで、地域間・世代間を超えた食文化の普及・伝承活動などを展開するとともに、地域農産物の生産拡大と利用促進を図る。										始期	2005
											終期	2027
K P I	えひめ食文化普及講座を受講後のアンケートで、「もう 1 度食べてみたい」と思う割合											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %		
	実績値	85 %	実績値	92 %	実績値	90 %	実績値	90 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	102.22 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	1093 千円	最終現計 予算額	1390 千円	最終現計 予算額	1223 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	1093 千円	決算額	1182 千円	決算額	1117 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
								不用額	106 千円	不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度も食文化普及講座の継続開催や、これまで作成した郷土料理の調理動画やレシピ集を活用した食育活動を行う予定であり、KPIは目標達成すると考えられることから、執行方法や予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初

事 項	儲かるモデル産地育成システム確立推進事業費										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	普及組織が普及指導計画（産地づくりビジョン）の目標を達成し、儲かるモデル産地育成システムを確立するため、産地が戦略的に実施するトップ層における先進技術のミドル層での技術実証や、流通販売促進の取組みに要する経費の一部を補助する。										始期	2023			
											終期	2027			
K P I	戦略品目の販売額（対R4年度比）														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	4 %増		目標値	8 %増		目標値	12 %増		目標値	16 %増		
	実績値	%増		実績値	7 %増		実績値	8.1 %増		実績値	12.4 %増		実績値	%増	
	ストック /フロー	フロー		達成率	175 %		達成率	101.3 %		達成率	103.3 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	13000 千円		最終現計 予算額	12000 千円		最終現計 予算額	12000 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	9030 千円		決算額	6851 千円		決算額	10654 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	1346 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性	維持	目標とする生産額は、変動要因もあることから、当初の計画どおり着実な目標達成を目指す。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初

事 項	リアルタイム農業普及指導ネットワーク運用事業費										予算主管課		農産園芸課		
事 業 概 要	生産現場と指導機関等をネットワークで結び、複数の専門家の助言に基づいた高いレベルの農作物診断等がリアルタイムで可能となる生産支援システムを運用し、農家が抱える課題にきめ細かく対応するほか、栽培技術等を次世代に継承し、農業生産の持続的発展を図る。										始期		2019		
											終期		2027		
K P I	システムによる指導件数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	96 件		目標値	1200 件		目標値	3000 件		目標値	4800 件		
	実績値	件		実績値	42 件		実績値	1253 件		実績値	3461 件		実績値	件	
	ストック /フロー	フロー		達成率	43.8 %		達成率	104.4 %		達成率	115.4 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	15326 千円		最終現計 予算額	13611 千円		最終現計 予算額	3477 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	15065 千円		決算額	14 千円		決算額	3224 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	253 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		現地講習会等を活用して積極的に登録者を拡大し、高温対策など有用な情報を提供することで、成果向上につなげる。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初

事 項	みどりの食料システム戦略推進事業費								予算主管課	農産園芸課	
事 業 概 要	国の「みどりの食料システム戦略」において掲げられた目標に向け、県計画・方針に基づき、有機農業の振興や有機資源利用、化学肥料・農薬の削減等の推進を図る。								始期	2023	
									終期	2026	
K P I	特別栽培農産物等取組面積及び有機農業取組面積										
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	1492 ha	目標値	1526 ha	目標値	1560 ha	目標値	1273 ha	
	実績値	1236 ha	実績値	1232 ha	実績値	1244 ha	実績値	1252 ha	実績値	ha	
	ストック /フロー	フロー	達成率	82.6 %	達成率	81.5 %	達成率	80.3 %	達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	32917 千円	最終現計 予算額	32476 千円	最終現計 予算額	41858 千円	最終現計 予算額	千円	
決算額			20309 千円	決算額	25875 千円	決算額	33056 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円				
								不用額	8802 千円	不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因 特別栽培農産物等取組面積について、団体で取り組んでいるJAの部会等に係る面積が減少したため、達成率が80.3%となり、未達成となった。									
		総括									
	見直し方向性	改善	令和7年度の目標達成率が想定より低調であったことから、令和8年度の執行では、対象の掘り起こし等により、成果の向上につなげる。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初

事 項	未利用資源を活用した有機肥料の開発利用促進事業費（東予）							予算主管課	農産園芸課	
事 業 概 要	国際情勢の影響を受けやすく、地力低下の要因にもなる化学肥料に依存した農業からの脱却を図るため、東予地域の未利用資源を原料とした有機肥料の開発、利用を促進し、化学肥料の低減を目指す。							始期	2024	
								終期	2026	
K P I	開発有機肥料の導入面積									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	0 ha	目標値	0 ha	目標値	0 ha	目標値	250 ha
	実績値	ha	実績値	ha	実績値	0 ha	実績値	0 ha	実績値	ha
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	1434 千円	最終現計 予算額	1420 千円	最終現計 予算額	千円
決算額			千円	決算額	1098 千円	決算額	1296 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円			
						不用額	124 千円	不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	R6年度から東予地域の未利用資源を活用した肥料の試作を開始した。R7年度から現地栽培実証し、 2 か年の実証結果をもとに肥料の有効性を検証した後、R9年から販売開始予定。 R8年度については予算要求時と同様のKPIで維持となる。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初

事 項	「媛かぐや」産地育成事業費（中予）								予算主管課		農産園芸課				
事 業 概 要	栽培が難しく生産量が少ないさといも「媛かぐや」について、栽培体系の構築と加工事業者等と連携した需要創出に取り組むことで、水稻転作高収益モデルを確立し、伊予地区の水田地帯で産地を育成する。								始期		2023				
									終期		2025				
K P I	中予地域の媛かぐや栽培面積														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	6 a		目標値	22 a		目標値	40 a		目標値	a		
	実績値	2 a		実績値	6 a		実績値	17 a		実績値	30 a		実績値	a	
	ストック/フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	77 %		達成率	75 %		達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	1198 千円		最終現計 予算額	1198 千円		最終現計 予算額	1198 千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	1084 千円		決算額	1133 千円		決算額	1112 千円		決算額	千円		
									繰越額	千円		繰越額	千円		
									不用額	86 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因 栽培戸数は22戸（R6：15戸）に増加したものの、種芋の供給や栽培ほ場の確保に課題があり、目標未達となった。												
			総括 栽培面積は30.0a（R6：17.5a）、平均単収は2t/10a（R6：0.6t/10a）と前年を上回った。また、新たに加工業者向けの販路を開拓した。今後は、加工用の生産を主軸に、高度な栽培技術の平準化、冷凍加工による通年流通の確立、認知度向上に向けた伴走型支援を継続していく。												
	見直し方向性														

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初

事 項	さくらひめ産地強化事業費（中予）										予算主管課	農産園芸課	
事 業 概 要	「さくらひめ」の収益向上のカギとなる卒業式等の需要期出荷に欠かせない夏季の自家育苗技術を確立するとともに、生産者から消費者を結ぶ販売体系を構築し、生産者の収益向上を図る。										始期	2023	
											終期	2025	
K P I	中予地域の夏季自家育苗に取り組んでいる「さくらひめ」生産者割合												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	10 %		目標値	15 %		目標値	25 %		目標値	%
	実績値	%	実績値	12.5 %		実績値	20 %		実績値	38 %		実績値	%
	ストック /フロー	ストック	達成率	125 %		達成率	133 %		達成率	152 %		達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	1089 千円		最終現計 予算額	1089 千円		最終現計 予算額	1089 千円		最終現計 予算額	千円
			決算額	1054 千円		決算額	990 千円		決算額	1045 千円		決算額	千円
							繰越額	千円		繰越額	千円		
									不用額	44 千円		不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因											
		総括 夏季の自家育苗技術の確立により、中予地域の「さくらひめ」生産者における夏季自家育苗の割合は38%に達し、目標を達成できた。また、PR活動の実施により、さくらひめの認知度を向上させ、令和8年度は事業で作成したマニュアルを活用し、技術のさらなる普及に努め、生産者の収益向上につなげる。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

17

当初

事 項	南予地域鳥類被害低減促進事業費（南予）										予算主管課		農産園芸課		
事 業 概 要	南予地域は鳥類によるかんきつ被害が県内最大で、深刻な状況にあるため、高周波技術等を活用した「音のバリア」による新たな手法をモデル的に導入し、高級柑橘類等に対する鳥類被害を低減することで、かんきつ王国えひめの維持・発展を図る。										始期		2024		
											終期		2025		
K P I	モデル園地の鳥類による果樹被害割合														
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	12 %		目標値	9 %		目標値	6 %		目標値	0 %		
	実績値	12 %		実績値	11 %		実績値	9 %		実績値	2 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	109.1 %		達成率	100 %		達成率	300 %		達成率	%	
コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2046 千円		最終現計 予算額	1900 千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円		決算額	2024 千円		決算額	1707 千円		決算額	千円		
									繰越額	千円		繰越額	千円		
									不用額	193 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因												
			総括 カラスに対する高周波音の効果が確認されるなど、一定の成果を上げたことから本年度で事業終了。鳥害対策は高周波音等により守るだけでなく攻め（捕獲）も必要であるが、最も被害の多いヒヨドリの捕獲は銃器のみに限られており捕獲数は減る一方であることから、今後は誰もが取り組みやすい新たな捕獲方法の確立に取り組む。												
	見直し方向性														

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

18

当初

事 項	次世代かんきつ整備園強化事業費（中予）								予算主管課		農産園芸課	
事 業 概 要	中予地区で基盤整備が進められているかんきつ園地を次世代かんきつ整備園のモデルとして、土壌改善による地力向上やスマート農機の導入・普及を促進し、高品質かんきつの生産拡大につなげる。								始期		2025	
									終期		2027	
K P I	モデル地区の腐植含有率											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	0.4 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	0.1 %		実績値	1.3 %	
	実績値	%		実績値	%		実績値	0.1 %		実績値	1.3 %	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	325 %	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1967 千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	1641 千円	
								繰越額	千円		繰越額	千円
				不用額	326 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	令和7年度は、目標以上の実績を得られたが、継続して土壌中の腐植含有率の数値確認と土壌改善による地力向上を進めていく必要があり、令和8年度も引き続き状況を確認することとしており、目標値の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

19

当初

事 項	さといも優良種苗新增殖技術普及事業費（東予）								予算主管課		農産園芸課			
事 業 概 要	農家が主に自家増殖を行っているため、種芋の罹病が拡大して収量や品質が低下しているさといも「愛媛農試V2号」について、新技術を基に、民間事業者と連携しながら、より低コストで、農家自身が実施できる優良種苗増殖技術を確立し、技術の普及を図る。								始期		2025			
									終期		2027			
K P I	新增殖技術による優良種苗への更新率													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	0 %				
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	0 %			
	ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1550 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	千円		決算額	千円		決算額	939 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円						
								不用額	611 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析		要因 さといも優良種苗新增殖技術については、順調に現地実証を行い、有効なエチレングス処理方法等の解明ができた。実用化に向けて技術に未確立の点があるため、令和9年度の技術確立に向けて実証を継続中である。											
			総括											
	見直し方向性		維持		令和7年度、新增殖技術の現地実証は順調に進んでおり、令和8年度は未解明の点について現地実証を進め、令和9年度の技術確立に向けて事業を推進することから、令和8年度の執行方法見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

20

当初

事 項	そらまめ産地強化事業費（中予）								予算主管課		農産園芸課				
事 業 概 要	黄化症状等の発生により出荷量が低下しているそらまめについて、主産地である中予地域において、生育阻害要因を解明し対策技術を確立して普及させることで、出荷量増加や単収向上を図り、強い産地の復活を目指す。								始期		2025				
									終期		2027				
K P I	モデル園におけるそらまめの単収（10aあたりの収量）														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	t		目標値	t		目標値	0.8 t		目標値	1.3 t		
	実績値	t		実績値	t		実績値	t		実績値	1.4 t		実績値	t	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1538 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	1476 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
不用額										62 千円		不用額	千円		

7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPI実績は好調であるが、単収減少の要因分析の途中であり、令和8年度も引き続き状況を確認することとしているため、令和8年度の執行方法や令和9年度予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

21

当初

事 項	「南予の特産果樹」魅力アップ事業費（南予）								予算主管課		農産園芸課				
事 業 概 要	県内果樹生産額の約7割を占める南予地域において、特産果樹である媛小春や加工用くだものの生産振興によって果樹経営の持続的な発展を図るため、栽培上の技術的対策と特長を生かした販路拡大支援により、南予の特産果樹の魅力を一体的に向上させる。								始期	2025					
									終期	2027					
K P I	南予地域の媛小春年間生産量														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	t		目標値	t		目標値	38 t		目標値	46 t		
	実績値	10 t		実績値	t		実績値	t		実績値	59 t		実績値	t	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	155.3 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1300 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	1270 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円							
								不用額	30 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性	維持	媛小春は、令和7年度のKPI実績は想定以上の成果がでているものの、隔年結果が大きいため、安定生産技術の確立に向けて実証を続けており、令和8年度の見直しは想定していない。 加工用くだものは、ほぼ想定通りの成果がでており、省力及び病虫害防除技術の更なる改善が見込めることから、見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

22

当初

事 項	「南予の特産果樹」魅力アップ事業費（南予）								予算主管課		農産園芸課				
事 業 概 要	県内果樹生産額の約7割を占める南予地域において、特産果樹である媛小春や加工用くだものの生産振興によって果樹経営の持続的な発展を図るため、栽培上の技術的対策と特長を生かした販路拡大支援により、南予の特産果樹の魅力を一体的に向上させる。								始期	2025					
									終期	2027					
K P I	加工用くだもの生産量														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	t		目標値	t		目標値	29.5 t		目標値	34 t		
	実績値	t		実績値	t		実績値	t		実績値	28.9 t		実績値	t	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	98 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	1300 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	1270 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	30 千円		不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因 もも、かきの生産量は、概ね目標通りであったものの、びわは病害の発生を抑えることができず目標値62%と減収となったため、未達成となった。											
		総括											
	見直し方向性	維持	媛小春は、令和7年度のKPI実績は想定以上の成果がでているものの、隔年結果が大きいため、安定生産技術の確立に向けて実証を続けており、令和8年度の見直しは想定していない。 加工用くだものは、ほぼ想定通りの成果がでており、省力及び病虫害防除技術の更なる改善が見込めることから、見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

23

当初

事 項	いちご新技術導入促進事業費（東予）										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	本県野菜のうち産出額1位のいちごの主産地である東予地区において、栽培技術の向上に意欲的な農家を中心にオランダの最先端生産技術・経営論を導入し、単収向上による儲かる農業の実現を図る。										始期	2025			
											終期	2026			
K P I	取組農家の平均単収の増加														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	t/10a		目標値	t/10a		目標値	4.3 t/10a		目標値	4.6 t/10a		
	実績値	3.9 t/10a		実績値	t/10a		実績値	t/10a		実績値	5.3 t/10a		実績値	t/10a	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	123 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	2276 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	2192 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	84 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	R7年度の目標は達成しており、R8年度以降、現状の流れで継続できれば、KPIは目標達成と考えられることから、R8年度の執行方法の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

24

当初

事 項	未来型果樹産地強化支援事業費										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	県果樹農業振興計画に基づき、未来型果樹園を核とした園地力・商品力の向上を推進するとともに、西日本豪雨災害からの復旧園地の生産力強化に向けた取組みに要する経費の一部を補助する。										始期	2021			
											終期	2030			
K P I	果実生産量														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	225750 t		目標値	229040 t		目標値	232330 t		目標値	232330 t		
	実績値	209758 t		実績値	221324 t		実績値	205064 t		実績値	215243 t		実績値	t	
	ストック/フロー	フロー		達成率	98.04 %		達成率	89.5 %		達成率	92.6 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	87252 千円		最終現計 予算額	88269 千円		最終現計 予算額	98100 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	86051 千円		決算額	59922 千円		決算額	66129 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
							不用額	31971 千円		不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因 担い手の減少や高齢化が進んで栽培面積が減少する中、夏秋季の少雨により小玉果が増加して生産量が目減りしたため、9割程度の達成率となった。									
		総括									
	見直し方向性	改善	本事業及び紅プリンセス生産支援事業に対する生産者の要望量は依然として多いことから、2事業を統合するとともに、主力である温州みかんの生産減少に歯止めをかける生産支援メニューを新たに盛り込んだ新規予算に組み替える。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

25

当初

事 項	紅プリンセス生産支援事業費								予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	「紅プリンセス」の生産力強化に向け、早期成園化や高品質果実生産のための施設整備の支援、生理障害等の発生軽減技術の実証により高品質安定生産技術の確立に取り組むほか、商標保護対策の強化を図る。								始期	2023
									終期	2025
K P I	紅プリンセス（愛媛果試第48号）栽培面積									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	90 ha	目標値	120 ha	目標値	140 ha	目標値	160 ha
	実績値	62.9 ha	実績値	81.7 ha	実績値	95.7 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック /フロー	フロー	達成率	90.8 %	達成率	79.8 %	達成率	%	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	22007 千円	最終現計 予算額	34429 千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	千円	決算額	16923 千円	決算額	21827 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	12602 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 R7(2025)年度数値は、R8年度3月(R9年3月)にとりまとめ予定								
		総括								
	見直し方向性	改善	本事業及び未来型果樹産地強化支援事業に対する生産者の要望量は依然として多いことから、2事業を統合するとともに、主力である温州みかんの生産減少に歯止めをかける生産支援メニューを新たに盛り込んだ新規予算に組み替える。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

26

当初,2
月補正

事 項	野菜生産出荷安定資金造成事業費								予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	野菜価格の低落に際して、生産者に価格保証を行うことにより、野菜農家経営の安定を図るために必要な資金を造成する。								始期	1966
									終期	
K P I	県内指定野菜産地の出荷計画量に対する出荷割合									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80 %
	実績値	80 %	実績値	80 %	実績値	79.4 %	実績値	97.8 %	実績値	%
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	99.3 %	達成率	122.3 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	26813 千円	最終現計 予算額	3234 千円	最終現計 予算額	0 千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	21165 千円	決算額	3234 千円	決算額	0 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	野菜価格の低落時に価格補填を行う制度として産地の安定に貢献していることから、8年度の執行方法の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

27

当初

事 項	再編復旧園発スマートアグリ推進事業費										予算主管課	農産園芸課	
事 業 概 要	上浦地区再編復旧園を活用し、ロボット作業やデータに基づく栽培など、生産効率の高い未来型果樹園のモデル的な整備に要する経費の一部を補助することで、若い移住者等を新規就農者として呼び込む拠点として構築するとともに、耕作放棄地への横展開を図る。										始期	2023	
											終期	2025	
K P I	スマートアグリ園地面積												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	1 ha		目標値	6 ha		目標値	9 ha		目標値	ha
	実績値	ha	実績値	1 ha		実績値	5 ha		実績値	11 ha		実績値	ha
	ストック /フロー	ストック	達成率	100 %		達成率	83.3 %		達成率	100 %		達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	3566 千円		最終現計 予算額	2969 千円		最終現計 予算額	2313 千円		最終現計 予算額	千円
			決算額	2700 千円		決算額	1117 千円		決算額	2096 千円		決算額	千円
							繰越額	千円		繰越額	千円		
									不用額	217 千円		不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因											
		総括 モデル園地へのスマート機器の導入が完了し、モデル園を契機として他園に横展開することで、事業目標を達成することができた。事業は廃止し、しまなみ農業指導班の一般普及業務としてモデル園のフォローを行うとともに、モデル園を契機とした更なる横展開を図る。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

28

12月
補正

事 項	施設園芸燃料高騰対策支援事業費										予算主管課		農産園芸課		
事 業 概 要	燃料価格の高騰が長期化している中、県内施設園芸農家の負担軽減を図るため、セーフティネット構築事業に加入している農家に対して、燃料に係る経費の一部を補助する。										始期		2024		
											終期				
K P I	施設園芸セーフティネット構築事業への加入件数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	62 件		目標値	82 件		目標値	67 件		目標値	65 件		
	実績値	37 件		実績値	67 件		実績値	68 件		実績値	67 件		実績値	件	
	ストック /フロー	フロー		達成率	108.1 %		達成率	83 %		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	12070 千円		最終現計 予算額	20353 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	1245 千円		決算額	5862 千円		決算額	千円	
										繰越額	10970 千円		繰越額	千円	
										不用額	3521 千円		不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	農家負担が増加している現状を踏まえ、施設園芸セーフティネット構築事業への加入促進を継続するため、執行方法の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

29

当初

事 項	観賞用枝物類産地支援事業費										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	観賞用枝物類は、県の花き生産の振興において重要な品目であることから、更なる規模拡大を目指すとともに、近年増加している老木の計画的な改植を促すため、種苗費及び資材費に係る経費の一部を補助する。										始期	2025			
											終期	2027			
K P I	愛媛県の枝物類出荷量														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	百万本		目標値	百万本		目標値	15.9 百万本		目標値	18 百万本		
	実績値	9.8 百万本		実績値	百万本		実績値	百万本		実績値	百万本		実績値	百万本	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	7362 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	3375 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	3987 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	枝物の新規栽培面積が順調に増加していることから、令和8年度予算の執行方法の見直しは検討していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

30

2月補正

事 項	農業施設等リノベーション対策支援事業費										予算主管課	農産園芸課			
事 業 概 要	生産資材が高騰する中で、コストを抑制しながら高品質な米麦・果樹・野菜類の安定生産に取り組むため、中古の園芸用ハウスや農業用機械、遊休出荷調整施設の有効活用を図る取組を支援する。										始期	2025			
											終期	2027			
K P I	支援対象農家の負担軽減率														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	%		目標値	100 %		目標値	100 %		
	実績値	%		実績値	%		実績値	%		実績値	100 %		実績値	%	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	100 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	51001 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	11766 千円		決算額	千円	
						繰越額	38856 千円		繰越額	千円					
						不用額	379 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性	維持	達成しているため、見直しは考えていない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

31

当初

事 項	水田農業競争力強化支援事業費								予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	水田農業の活力の維持や持続的な発展に向け、水稲と麦を組み合わせた愛媛型二毛作体系の推進に要する経費の一部を補助するとともに、県産はだか麦の需要拡大に向けた各種取組みを実施する。								始期	2021
									終期	2030
K P I	県米・麦・大豆生産振興ビジョンの栽培面積達成率									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%
	実績値	97 %	実績値	99 %	実績値	101 %	実績値	100 %	実績値	%
	ストック /フロー	フロー	達成率	99 %	達成率	101 %	達成率	100 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	42000 千円	最終現計 予算額	43200 千円	最終現計 予算額	44773 千円	最終現計 予算額	千円
決算額			37294 千円	決算額	40856 千円	決算額	38156 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	6617 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括 水稲と麦を組み合わせた愛媛型二毛作体系の推進や県産はだか麦の需要拡大に向けた各種取組を実施した結果、KPIを達成することができた。令和8年度以降は、本県水田農業の持続的な発展に向けて、需要に応じた米・麦・大豆生産による収益性の高い農業を推進するとともに、水田農業の生産・供給体制の強化を目指す。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

32

当初,2
月補正

事 項	経営所得安定対策等推進事業費								予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	経営所得安定対策を推進するため、農業者等への普及啓発を行う協議会及び同対策を支 援する市町に対し必要経費を補助する。								始期	2011
									終期	
K P I	経営所得安定対策等加入申請件数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	3800 件	目標値	3800 件	目標値	3800 件	目標値	3800 件
	実績値	3789 件	実績値	3434 件	実績値	3136 件	実績値	2819 件	実績値	件
	ストック /フロー	フロー	達成率	90.37 %	達成率	82.5 %	達成率	74.2 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	80000 千円	最終現計 予算額	80000 千円	最終現計 予算額	69820 千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	72860 千円	決算額	70786 千円	決算額	69820 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
				不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 生産者の高齢化や担い手不足に加え、大規模農家への農地集積が進んでいることから、申請件数は減少傾向（R4年比74.4%）にあるため未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	改善		7年度の目標達成率が想定よりも低調であったことに加え、高齢化による農家戸数減少という現状を踏まえると8年度も同様の状況が見込まれるため、8年度の執行では、地域農業再生協議会に対する説明会において経営所得安定対策等の推進活動に取り組み、市町への指導を徹底し、対象の新規掘り起しを行い、更なる成果の向上につなげる。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

33

当初,2
月補正

事 項	ひめの凜産地強化支援事業費								予算主管課		農産園芸課					
事 業 概 要	ひめの凜の更なる生産拡大を目指し、優良種子・優良苗の供給体制の強化等により生産基盤の強化を図るとともに、首都圏のお米マイスターと連携した高級米としてのブランド化と新たな販路の確保に取り組み、「ひめの凜」を核とした儲かる水田農業の確立を目指す。								始期		2025					
									終期		2027					
K P I	ひめの凜栽培面積															
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
	R 4 年 度		目標値	ha		目標値	1000 ha		目標値	1250 ha		目標値	1500 ha			
	実績値	505 ha		実績値	ha		実績値	1006 ha		実績値	1320 ha		実績値	ha		
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	105.6 %		達成率	%		
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	91317 千円		最終現計 予算額	千円		
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	43991 千円		決算額	千円		
						繰越額	43055 千円		繰越額	千円						
						不用額						4271 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析		要因													
			総括													
	見直し方向性		維持		7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も「ひめの凜」の作付動向を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の大幅な見直しは検討していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

34

当初,2 月補正	事 項	鳥獣害防止対策総合支援事業費						予算主管課		農産園芸課				
事業 概 要		県、市町、関係団体等が連携し、被害防除施設の整備、捕獲活動などを進めるとともに、鳥獣害対策をけん引する「えひめ地域鳥獣管理専門員」や捕獲従事者の確保・育成を図るなど、鳥獣害防止に向けた総合的な対策を実施する。						始期		2011				
								終期		2026				
K P I	野生鳥獣による農作物被害額													
	KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
	R 4 年 度		目標値	375000 千円		目標値	366000 千円		目標値	357000 千円				
	実績値	千円		実績値	345094 千円		実績値	508450 千円		実績値	353987 千円			
	実績値	千円		実績値	345094 千円		実績値	508450 千円		実績値	353987 千円			
	ストック /フロー	フロー		達成率	108.7 %		達成率	72 %		達成率	100.1 %			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	340407 千円		最終現計 予算額	268584 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	千円		決算額	325053 千円		決算額	234762 千円		決算額	千円	
									繰越額	10562 千円		繰越額	千円	
						不用額	23260 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	各対策にバランスよく取り組んだことから被害面積は減少しているが、様々な要因により短期的な目標達成には至っていない。しかし、ここで対策を弱めるとさらに被害額が高まることから現状を維持しながら今後もバランスよく各事業を執行していくことが必要である。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

35

当初

事 項	鳥獣害防止施設整備強化事業費										予算主管課	農産園芸課
事 業 概 要	野生鳥獣による農作物被害が、これまで出没が少なかった侵入防止柵未設置圃場で新たに発生しているほか、新たな獣種による被害が拡大していることから、侵入防止柵の新規整備や獣種に応じた既存柵の改良等に要する経費の一部を補助する。										始期	2025
											終期	2027
K P I	本事業に取り組む圃場の野生鳥獣による農作物被害件数											
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	件	目標値	件	目標値	0 件	目標値	0 件		
	実績値	件	実績値	件	実績値	件	実績値	0 件	実績値	件		
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	19000 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円	決算額	千円	決算額	13483 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
				不用額				5517 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	「守り」の対策を確実に取り組んだことから目標達成につながったものと思われるが、ここで対策を弱めると再度被害額が高まることから現状を維持しながら今後も継続して守りの対策事業を執行していくことが必要である。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

36

当初

事 項	有害鳥獣総合捕獲事業費										予算主管課	農産園芸課		
事 業 概 要	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル適正管理計画等に基づく効果的な有害獣の捕獲を促進するため、市町が実施する有害獣の捕獲奨励金交付事業に要する経費の一部を補助する。										始期	1977		
											終期			
K P I	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの年間捕獲頭数													
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	44810 頭		目標値	44810 頭		目標値	44810 頭		目標値	44810 頭	
	実績値	頭	実績値	35955 頭		実績値	48148 頭		実績値	29863 頭		実績値	頭	
	ストック /フロー	フロー	達成率	80.2 %		達成率	107.4 %		達成率	66.6 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	115340 千円		最終現計 予算額	115790 千円		最終現計 予算額	116090 千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	110345 千円		決算額	108555 千円		決算額	116090 千円		決算額	千円	
									繰越額	千円		繰越額	千円	
									不用額	千円		不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因 前年度に過去最高頭数のイノシシが捕獲されたことで農地周辺へのイノシシの出没が減少し、捕獲頭数が減少した。また、エサとなるドングリが豊作であったことも出没頻度減少の要因と考えられる。									
		総括									
	見直し方向性	維持	毎年の目標頭数を捕獲することで、対象獣類が減少傾向を示す可能性があるものであることから、現状を維持した上で事業を実施することが必要である。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。